



細江 駿介 (26才、入社1年) 雑踏警備

働きながら司法試験にチャレンジし見事合格

面接の時、司法試験の勉強中だということで、半分は信じられない気持ちでした。勉強は大変だったのではないですか？よく警備の仕事と両立されましたね。

細江 かなり難しい試験ですし、相当時間をかけて勉強しなくてはいけないのは事実です。私自身2度目の挑戦だったのですが、今思えば以前は勉強する時間もたっぷりあって、いつでも勉強していただける状況でした。ただ、若干の生活費のこともあり、親にもなるべく負担をかけたくないので、仕事をしながら次の受験をしようと思った時、セクダムのイベント警備の募集をネットで見えて応募して、面接で話を聞いた際、勤務日数や勤務日は自分で設定できる、いわゆるマイシフト制ということだったので決めました。実際やってみると、自分で仕事と勉強時間をプロデュースするので、以前より勉強の能率がとても上がりました。

細江さんの今回の合格に、当社も少しはお役に立てたのでしょうか。

細江 直接ではないですが、セルフマネジメントをすることで、生活にメリハリがつき「今日やらなきゃ」という気持ちが以前より強くなり、集中力を高めることができたと思います。私はたまたま司法試験という目標を持っていましたが、セクダムの同僚の中には画家志望の方、漫画家の方、医学生志望の方が多数いらっしゃって、そういう方達とお話できたのも良い刺激になりましたので、働きながらそれぞれの「夢や目標」を実現したいという人にはうってつけの仕事ではないかと思います。

今後は司法修習生として、東京に行かれるということで、当社としては残念ですが、新たな道で頑張ってください。